



気管カニューレ交換

適応	長期留置している気管カニューレ（気管切開チューブ）
禁忌	気管切開後まもない時期（瘻孔形成されていない時期）、呼吸機能の悪化、重篤な粘膜損傷・出血をきたすリスクが高い状況
準備例	気管カニューレ、注射器（カフに空気を入れる）、カフチェックのための水とコップ、潤滑目的のゼリー、固定用のストラップ、Yガーゼ、カフ圧計
手技のポイント	気管カニューレを抜去して、新たなものを挿入し固定するまでの時間が短くなるように、物品の配置も含めて準備する。挿入困難な場合に備え、事前に気道確保の方法を確認し準備しておく。気管カニューレの挿入時に抵抗を感じる時は無理に押し進めず、気道確保と換気をしながら原因を考える
合併症	換気困難、出血、皮下気腫